



新潟県

要 覧

新潟県水産海洋研究所

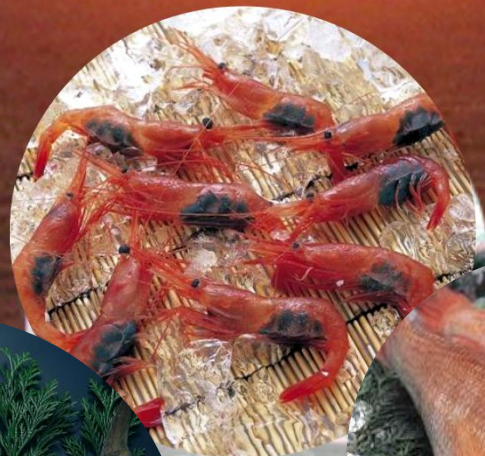
NIIGATA PREFECTURAL FISHERIES AND MARINE RESEARCH INSTITUTE



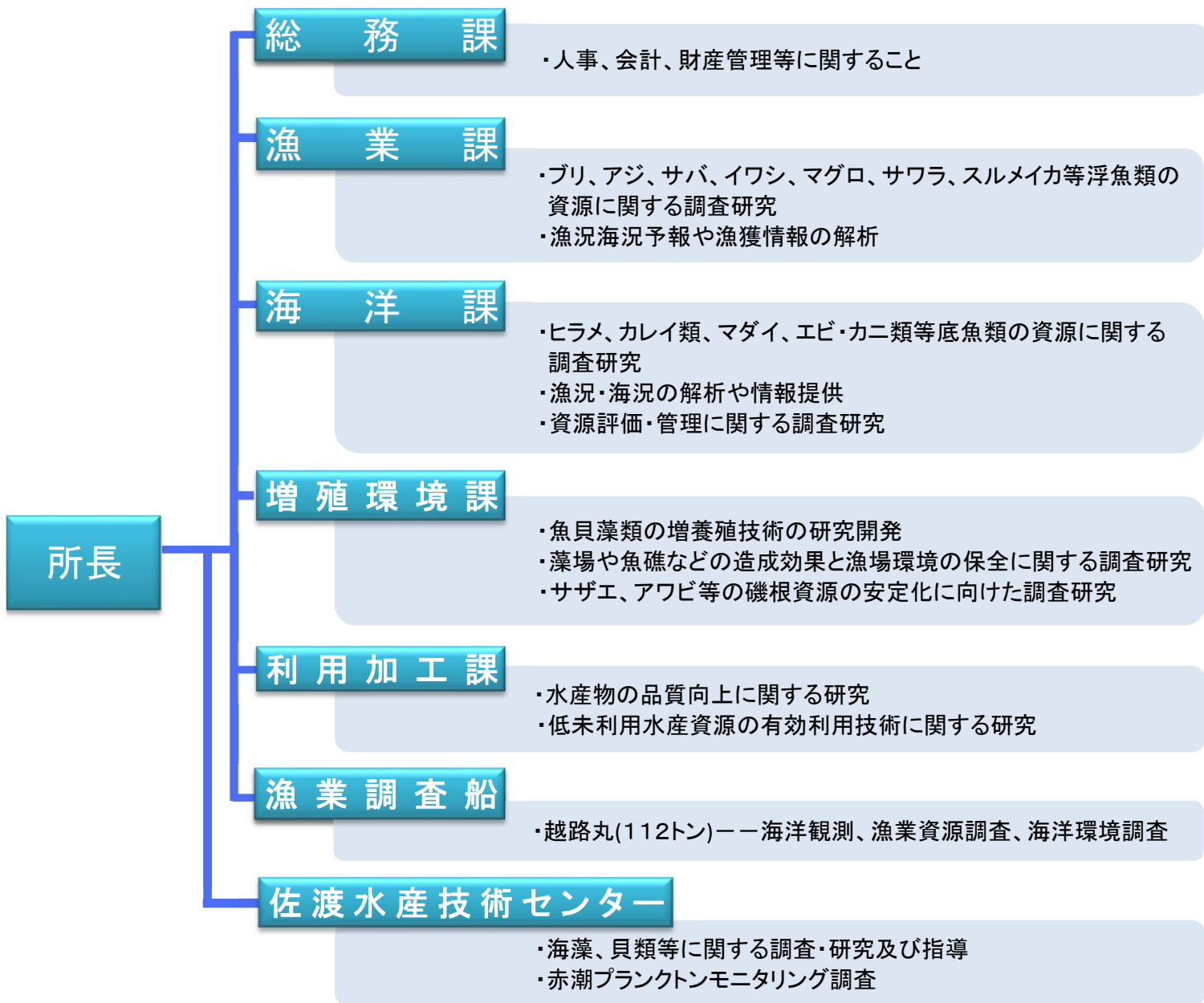
新潟の豊かな海をいつまでも…

新潟にはおいしいお米、おいしいお酒とともに、おいしい日本海の幸がたくさんあります。新潟県水産海洋研究所では、豊かな海の恵みを将来にわたって育むため、漁業・資源管理・増養殖・水産加工に関わる試験研究に取り組んでいます。

また、水産研究の拠点として漁業者をはじめ県民の皆様に親しまれる研究機関をめざしています。



組織



あゆみ

| | | | |
|------|---|------|---|
| 明治32 | 新潟市上大川前通りにおいて新潟県水産試験場として業務開始 | 平成5 | 新水産試験場一期工事完成により新潟市五十嵐3の町に移転 |
| 明治36 | 三島郡寺泊町に本場を設置 | 平成8 | 二期工事完成、機構改革により水産試験場と栽培漁業センターを統合し、水産海洋研究所、同佐渡水産技術センター、同村上水産技術センターに改組 |
| 大正10 | 佐渡郡両津町に佐渡分場を設置 | | 漁業指導船三代目越路丸(187トン)を建造 |
| 昭和32 | 新潟市に新潟出張所を設置 | 平成12 | ヒラメ、アユの種苗生産業務を(社)新潟県漁業振興協会に移管し、水産海洋研究所村上水産技術センターを廃止 |
| 昭和34 | 本場を新潟市に移転 | 平成16 | 佐渡海洋深層水利活用施設内に佐渡水産技術センター多田駐在所を設置 |
| 昭和35 | 漁業指導船初代越路丸(115.94トン)を建造 | 平成21 | 漁業指導船二代目苗場を廃船 |
| 昭和37 | 村上市瀬波町に海藻採苗センター村上支場を設置 | 平成26 | 佐渡水産技術センター多田駐在所を廃止 |
| 昭和40 | 機構改革により内水面水産試験場発足 場内の内水面業務を同場へ移管 | 平成29 | 加工課業務の一部を食品研究センターに移管し、加工課の名称を利用加工課に変更 |
| 昭和44 | 集団操業指導船初代苗場(29.95トン)を建造 | 令和2 | 漁業調査船四代目越路丸(112トン)を建造 |
| 昭和51 | 機構改革により栽培漁業センターを発足 場内の増殖関係業務、佐渡分場、村上支場を同センターに移管 | | |
| 昭和53 | 漁業指導船二代目越路丸(156.48トン)を建造 | | |
| 昭和59 | 漁業指導船二代目苗場(38トン)を建造 | | |

水産資源の持続的利用の推進と経営体質の強化のために

- ・ 海洋観測、漁獲調査、生物測定等のデータを解析して、浮魚類、底魚類、エビ・カニ類等の資源評価を行います。
- ・ 主要魚種の成長や産卵等の生物特性、資源動向を把握し、科学的根拠に基づいた水産資源の合理的・持続的な利用方法を提案します。
- ・ 漁具、漁法を改良し、未利用資源の利用や操業コストの低減を図ることにより、効率的で安定した漁家経営を推進します。



ウスメバルの精密測定



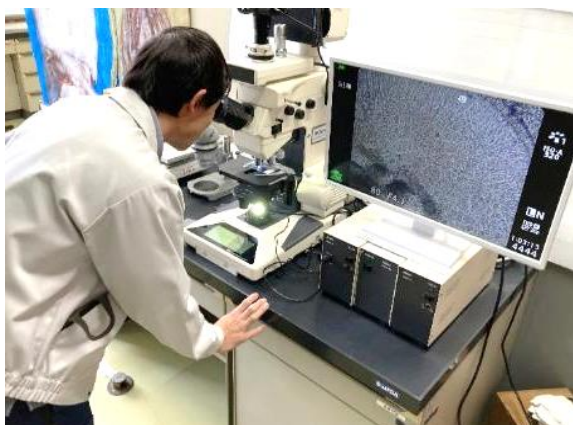
ズワイガニ籠調査



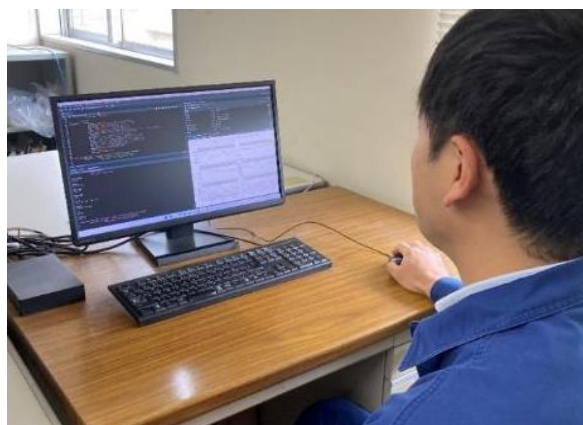
漁獲物の市場調査



ホッコクアカエビソリネット調査



スルメイカの日齢査定



パソコンによる資源解析

つくり育てる漁業にむけて

- ・ ホンダワラ類等の有用藻類の増養殖によるCO2吸収量増大に向けた技術を研究開発します。
- ・ 磯焼け(藻場が衰退・消失し、それが長期継続する現象)の現状や要因を把握し、要因に対応した藻場維持・回復技術を研究開発します。
- ・ 造成藻場や人工魚礁など公共事業で造成・設置された施設を増養殖技術に活用するための調査研究をします。
- ・ サケの回帰状況やヒラメ・アワビ類などの種苗放流効果を調査分析して、効率的な魚介類の増殖事業を推進します。



アカモク種苗の生産技術開発



養殖試験によるアカモクの水揚げ風景



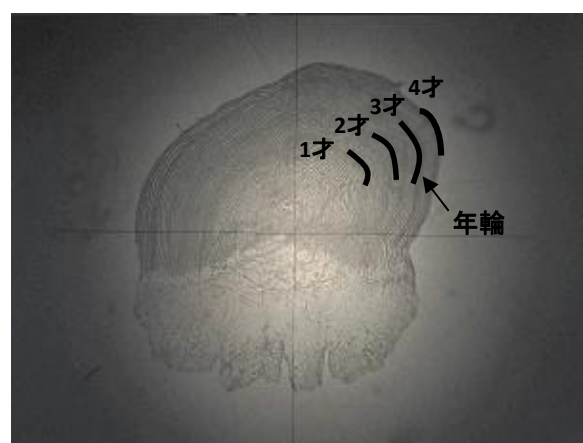
藻場造成効果調査



藻場回復の取組(磯焼け域への種の供給)



無眼側に黒化がある放流ヒラメ



サケの鱗による年齢査定(4才)

ゆたかな恵みを新たな食材に

- ・鮮度保持や冷凍貯蔵等、水産物の品質向上に関する技術開発を行い、漁業関係者等へ提供します。
- ・低未利用水産資源の活用技術に関する研究を行います。



加工実験棟内の各種試験機器



冷凍貯蔵試験(アイスグレイズ処理の様子)



低未利用魚の利活用検討



県産魚の加工原料化



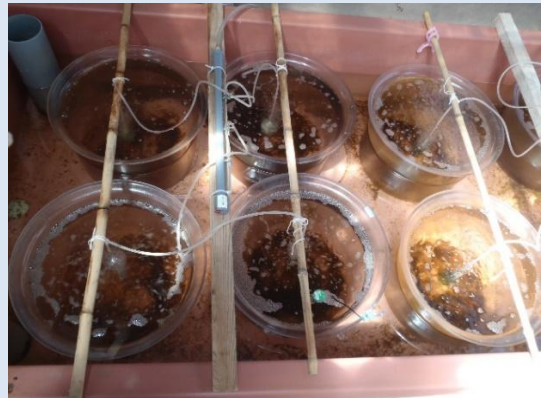
食品の物性測定装置

佐渡水産技術センター

- ・佐渡地域の水産振興を図るため、海藻やマガキ等の養殖技術開発及び普及・指導を行います。
- ・佐渡地域の藻場造成漁場を調査して、効果的な藻場増殖技術を開発します。



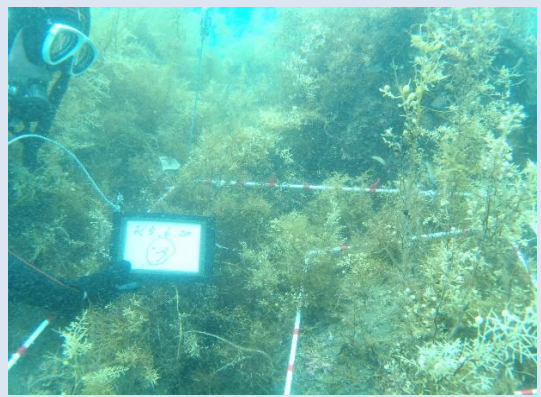
海藻等養殖の技術指導



民間種苗生産の技術指導



赤潮プランクトン防除技術の開発



藻場調査

漁業調査船

越路丸

本県沿岸から日本海沖合域の海洋調査、漁場調査、資源調査等を行います。



| | |
|-------|---------------|
| 建造年月日 | 令和2年2月25日 |
| 総トン数 | 112トン |
| 全長 | 33.89m |
| 主機関 | 1,030kW |
| 航海速力 | 約12ノット |
| 定員 | 15名(うち乗組員11名) |

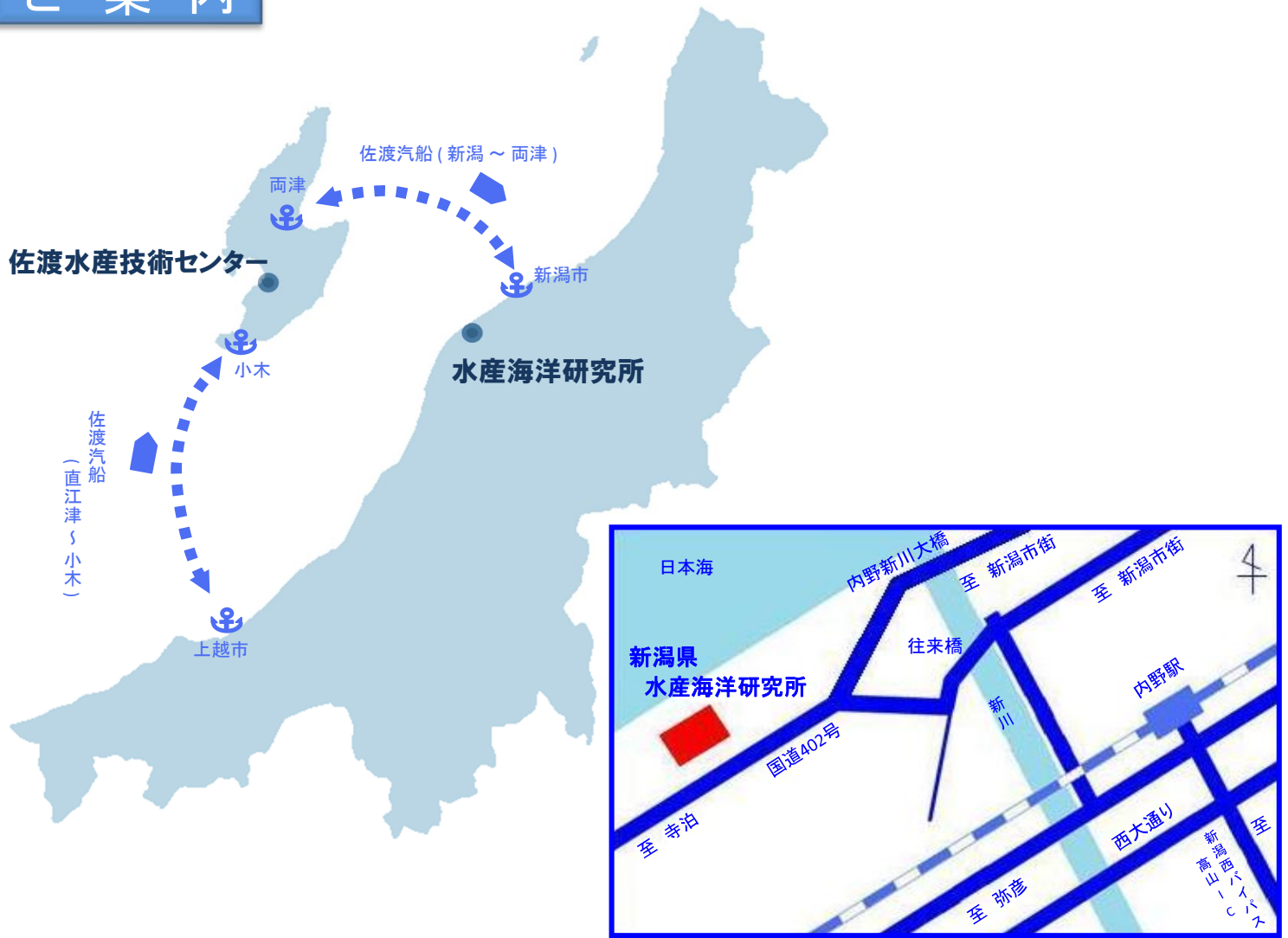
【主な調査】

- ・海洋観測
- ・ズワイガニ調査(かにかご、けた網)
- ・底魚資源調査(板びき網、けた網、ソリネット)
- ・漁場環境調査
- ・海底地形調査等



底魚資源調査の様子(板びき網)

ご案内



新潟県水産海洋研究所

〒950-2171 新潟市西区五十嵐3の町13098-8

TEL 025-261-2041

E-mail ngt068130@pref.niigata.lg.jp

- ▶ 新潟駅から
JR越後線にて内野駅下車、タクシーにて5分(約1,000円)
- ▶ 新潟空港から
新潟駅行きリムジンバスをご利用になり、新潟駅にてお乗り換えください。

佐渡水産技術センター

〒952-0317 佐渡市豊田2082

TEL 0259-55-2630

E-mail ngt068131@pref.niigata.lg.jp

- ▶ 両津港から
路線バス南線で真野新町下車後徒歩25分 又は小木線に乗り換えて豊田下車徒歩5分
- ▶ 小木港から
路線バス小木線で、豊田下車徒歩5分

新潟県水産海洋研究所ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/suisan-kenkyu/>



(令和8年5月)